

日本語から見た世界の言語の主題と焦点

の だ ひさし
野田 尚史 (日本大学)

きしもと ひでき
岸本 秀樹 (神戸大学)

よねだ のぶこ
米田 信子 (大阪大学)

きりゅう かずゆき
桐生 和幸 (美作大学)

はら まゆこ
原 真由子 (大阪大学)

ワークショップの目的と構成

の だ ひさし
野田 尚史（日本大学）

研究の目的

日本語の主題については研究の蓄積が十分にある。それをもとに他の言語を分析し、それぞれの言語の主題と焦点の表示方法や、主題と焦点の位置づけを明らかにする。

分析の基本的な観点は、次の2つである。

- (1) 主題表示中心の言語か焦点表示中心の言語か？
- (2) 主題・焦点を表す中心的な手段は形態か語順か音声か？

日本語は形態で主題を表す主題表示中心の言語

主題と焦点の関係

文の主題:

- 文の中で前提となる旧情報を表す部分
- ✖ 相手に伝えたい新情報を表す部分

文の焦点:

- ✖ 文の中で前提となる旧情報を表す部分
- 相手に伝えたい新情報を表す部分

文の主題と文の焦点は表裏の関係にある

主題と焦点の関係

文の主題と文の焦点は表裏の関係にある



主題表示機能が発達している言語ほど焦点表示機能が弱いことが多く、焦点表示機能が発達しているほど主題表示機能が弱いことが多いのではないかと予測される。

主題・焦点を表す手段

(1) 形態

主題:「は」(日本語)

焦点:「tamay」(シンハラ語)

(2) 語順

主題:文の前の方に置く(日本語など)

焦点:文の前の方に置く(インドネシア語など)

(3) 音声

主題:強く高く発音せず,後にポーズを置ける(日本語など)

焦点:強く高く発音する(日本語など)

主題・焦点を表す手段

言語の種類 \ 主題・焦点を表す手段	形態	語順	音声
主に形態を使う言語 (日本語など)	◎	○	○
主に語順を使う言語 (マテング語など)		◎	○
主に音声を使う言語 (英語など)			◎

ワークショップの構成

(1) シンハラ語の主題と焦点（岸本秀樹）

主題を積極的に表さず，焦点を表す形態によって焦点を積極的に表す言語

(2) ネワール語の主題と焦点（桐生和幸）

文頭に置くという語順によってさまざまな成分を主題として表す言語

ワークショップの構成

(3) マテング語の主題と焦点（米田信子）

文頭に置くという語順によって主題を表し，動詞の直後に置くという語順によって焦点を表す言語

(4) インドネシア語の主題と焦点（原真由子）

文頭に置くという語順によって主題を表したり焦点を表したりする言語

(5) フロアとのディスカッション